



ふるさと

ウォッチング

2/26

ポットラックパーティーで留学生と交流



大東ホームステイ事業（2月7日～3月6日）の一環としてお菓子ポットラックパーティーが開催されました。

当日は、小学生などおよそ60人が参加し、国際交流員のロジャー・マシューズさんや留学生が考えたゲームなどをして交流を深めました。特に、カードに書かれた内容の人を探し「大東ビンゴゲーム」では、会場のあるこちらで笑い声があふれ、大変盛り上がりがありました。



3/3

今日は楽しいひなまつり



三刀屋町の中野幼稚園で園児たちの健康やかな成長を願って、ひなまつり会が開かれました。

園児たちは、この日のために手作りの雛人形を準備。会では飾り付けをした蒸しパンを食べたり、ひなまつりにちなんだ歌を合唱したりした後、のど自慢大会と題して園児たちが思い思いの曲を披露し、楽しいひとときを過ごしました。

4/23

まもなくオープン 掛合酒蔵資料館



この資料館は、酒造りの休止により(株)竹下本店から寄付された施設を改修したもので、土蔵瓦葺2階建ての酒蔵は明治30年に建造され、酒造りの文化を伝える貴重な建造物として保存、一般公開されます。

また、施設は資料館としてばかりでなく、地元「ふるさと」の酒造る会」が市内外の会員を募り、酒造りを通じた都市農村交流を図る場としても活用されます。



2/20

地域に息づく伝統行事 餅さし



吉田町地区の善福寺で、150年以上前から続く伝承行事「餅さし」があり、地元住民が集まり無病息災や五穀豊稔を祈願しました。

餅さしは、その昔、飢饉により農作物の不作にみまわれた住民が、本尊である十一面観音に祈るため、各戸より米を集め、餅を供えたのがはじまりと云われています。それから後、その供養に併せ、力じまんの若者たちが集まり、重さ43kgほどある餅を何度も担ぎあげてから奉納しています。

観音堂で行われた餅さしには5人の若者が参加し、大餅を何回担ぎあげたかを競いました。



2/19・20

ピリオネア大学音楽劇「未来天然色」

加茂文化ホール・ラメールでピリオネア大学音楽劇「未来天然色」が上演され、町内外から950人の観客が歌と踊りの舞台に酔いしれました。

ピリオネア大学は、平成5年に加茂町住民を中心に結成された音楽劇サークル。東京都在住の歌手モンデン・モモさんを指導者として迎え、団員は大人から子供まで100名です。同サークルは加茂町の文化活動の拠点、加茂文化ホール・ラメールを中心に年間を通じ活動しています。

平成6年に活動を本格的にスタートし毎年のようにオリジナル作品を発表しつづけ、今回の作品は記念すべき10作目となりました。

節目の年となった今回は映像を取り入れた演出を試みるなどの意欲作で、毎回見に来るといふ加茂町内の男性は「今回の作品は演技力・歌唱力など団員のレベルアップを感じ、見ごたえがありました。次回の作品が楽しみです。」と感想を話してくれました。



2/27

斐伊地区を新しい花見スポットに



木次町斐伊地区の自治会長や地域の関係者などで構成する斐伊地区活性化協議会（内田弘一会長）のメンバーが、斐伊小学校裏にある城名植山の桜の手入れと、地元公民館周辺に桜の苗木25本を植樹しました。

同協議会では、平成12年に城名植山へ桜の苗木200本の植樹をしており、毎年春には施肥を、夏には除草作業を実施してきました。

この日は、前日から降り積もった雪のため、足場の悪い中での作業となりましたが、参加者は手際よく作業を行い、こころよい汗を流しました。

また、同協議会ではこのような活動のほか「住民自らの手で住みよい地域を作るう」のテーマのもと、会員一人ひとりから集めた要望や地元将来像を地図に記した、手づくりの斐伊地区活性化マップを作成する予定にしています。



城名植山の展望場は、中国山地の山並みや斐伊川、下熊谷平野を一望できる絶好の眺望です。